



平成25年5月10日

各 位

上場会社名 日本化成株式会社
代表者 取締役社長 中村英輔
(コード番号 4007)
問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
(TEL 03-5540-5861)

新中期経営計画「NKC-Plan2015」見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2011年に策定いたしました新中期経営計画「NKC-Plan2015」の見直しを行いましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 今回の見直しの考え方

当社は、2011年に策定した、新中期経営計画「NKC-Plan2015」を実行中ですが、その後の事業環境変化等を踏まえ、今後の3年間（2013年度～2015年度）について、各事業の収益基盤をより強固且つ確実なものとするべく、新たな構造改革施策を織り込むとともに、既存施策の見直し、加速化等についても一層注力することといたしました。

2. 見直し後の新中期経営計画「NKC-Plan2015」の概要

- (1) 計画の名称 NKC-Plan2015 (2011年～2015年)
- (2) 経営目標 “大震災の影響を乗り越え より安定的な収益基盤を実現”
- ◇収益
 - ・経常利益 21億円
 - ◇環境
 - ・地球温室効果ガスの削減
エネルギー原単位：1990年度比20%削減
 - ◇安全
 - ・保安事故、労働災害ゼロ
 - ・GPS活動（リスクベースの化学物質管理）の推進
評価結果、管理方法の公表

(3) 年次別収益計画

①連結売上高・損益計画

(単位：億円)

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
売上高	329	337	366	378	390
営業利益	5.7	5.8	12.2	15.7	20.5
経常利益	9.6	9.4	13.0	16.2	21.0
純利益	3.7	3.7	5.1	7.0	9.9

②セグメント別売上高計画

(単位：億円)

		11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	139	167	180	186	195
	機能化学品・化成品	76	78	86	90	94
関係会社、その他		114	92	100	102	101
合計		329	337	366	378	390

③セグメント別経常損益計画

(単位：億円)

		11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	▲6.3	1.5	4.5	6.4	9.8
	機能化学品・化成品	2.9	0.2	4.2	5.5	7.1
関係会社、その他		13.0	7.7	4.3	4.3	4.1
合計		9.6	9.4	13.0	16.2	21.0

(4) セグメント別主要戦略 (2011年～2015年)

①無機化学品セグメント

- ◇合成石英粉事業の強化・拡大
 - ・光ファイバー用途向け開発加速化
- ◇硝酸系事業の抜本的事業構造改革
 - ・硝酸製造の黒崎工場集約
- ◇A d B l u e® (ディーゼル車脱硝用高品位尿素水) 事業の拡大

②機能化学品・化成品セグメント

- ◇T A I C®事業の収益基盤再構築
 - ・新規用途開発の加速化
 - ・徹底したコストダウン
- ◇メタノール・ホルマリン事業の基盤強化
 - ・主要顧客との更なる連携強化
 - ・新規接着剤の投入によるシェア拡大
- ◇特殊機能化学品の収益力強化
 - ・最適事業運営体制構築

③未来材料

- ◇光関連材料の技術開発と市場開拓
 - ・高屈折率材料
 - ・低屈折率材料

(5) 小名浜・黒崎両工場の競争力強化

- ◇安全・安定運転体制の更なる強化
- ◇徹底した効率化・合理化
生産・物流等コスト削減
- ◇よりハイレベルな品質管理体制構築
- ◇小名浜工場土地・設備有効活用策の継続検討

(6) 設備投資計画

(単位：億円)

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画	13-15計
拡大・合理化	0.4	8.5	3.7	6.6	7.6	17.9
インフラ整備等	1.1	1.8	4.8	4.3	5.3	14.3
合計	1.5	10.3	8.5	10.9	12.9	32.2

拡大・合理化：新規設備設置、設備増強、省資源・省エネルギー化等

インフラ整備等：設備劣化更新、共通設備の設置・更新等

(7) 研究開発(RD)投資計画

(単位：億円)

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画	13-15計
無機化学品	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	2.1
機能化学品・化成品	3.2	3.1	2.8	2.8	2.8	8.4
未来材料	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	4.5
合計	5.8	5.6	5.0	5.0	5.0	15.0

※本資料記載の将来の見通しに関する事項については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

日本化成株式会社 総務人事部総務グループ TEL:03-5540-5861

APTSIS 15

NKC-Plan2015の見直し

(2011年～2015年 5ヶ年計画)

～大震災の影響を乗り越え
より安定的な収益基盤を実現～

2013年5月10日
日本化成株式会社

目 次

I . NKC-Plan2015 : 過去2年間(2011年～2012年)実績

II . NKC-Plan2015: 今後3年間(2013年～2015年)見直し概要

1. 経営目標
2. 年次別収益計画
3. セグメント別戦略
4. 小名浜・黒崎両工場の競争力強化
5. 設備投資計画
6. 研究開発投資計画



日本化成

Good Chemistry for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ

I . NKC-Plan2015 : 過去2年間(2011年～2012年)実績

(単位: 億円)

	11年度		12年度	
	計画	実績	計画	実績
売上高	375	329	394	337
営業利益	19.8	5.7	23.5	5.8
経常利益	20.6	9.6	24.0	9.4
純利益	10.6	3.7	11.6	3.7

II . NKC-Plan2015 見直し概要

今後3年間(2013年～2015年)

当社は、2011年に策定した、新中期経営計画「NKC-Plan2015」を
実行中であるが、その後の事業環境変化等を踏まえ、今後の
3年間(2013年度～2015年度)について、各事業の収益基盤をより
強固且つ確実なものとするべく、新たな構造改革施策を織り込むとと
もに、既存施策の見直し、加速化等についても一層注力することと
する。

1. 経営目標

“大震災の影響を乗り越え
より安定的な収益基盤を実現”

◇収益

- ・経常利益 21億円
- (参考) 売上高 390億円 ROA 4.8%

◇環境(Sustainability)

- ・地球温室効果ガスの削減
エネルギー原単位:1990年度比20%削減

◇安全(Health、Comfort)

- ・保安事故、労働災害ゼロ
- ・GPS活動(リスクベースの化学物質管理)の推進
評価結果、管理方法の公表

1. 新たな構造改革施策

硝酸系事業の抜本的事業構造改革

- ・硝酸製造の黒崎工場集約

2. 既存施策の見直し・加速化

合成石英粉事業の強化・拡大

- ・光ファイバー用途向け開発加速化

2. 年次別収益計画

【単位：億円】

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
売上高	329	337	366	378	390
営業利益	5.7	5.8	12.2	15.7	20.5
経常利益	9.6	9.4	13.0	16.2	21.0
純利益	3.7	3.7	5.1	7.0	9.9

【単位：億円】

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
無機化学品	139	167	180	186	195
機能化学品・化成品	76	78	86	90	94
関係会社、その他	114	92	100	102	101
合計	329	337	366	378	390

【単位：億円】

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
無機化学品	▲6.3	1.5	4.5	6.4	9.8
機能化学品・化成品	2.9	0.2	4.2	5.5	7.1
関係会社、その他	13.0	7.7	4.3	4.3	4.1
合計	9.6	9.4	13.0	16.2	21.0

3. セグメント別戦略



(1) 無機化学品セグメント 主要戦略(2013年～2015年)

Good Chemistry for Tomorrow
三菱ケミカルホールディングスグループ

- ◇合成石英粉事業の強化・拡大
 - ・光ファイバー用途向け開発加速化
- ◇硝酸系事業の抜本的事業構造改革
 - ・硝酸製造の黒崎工場集約
- ◇AdBlue[®](ディーゼル車脱硝用高品位尿素水)事業の拡大

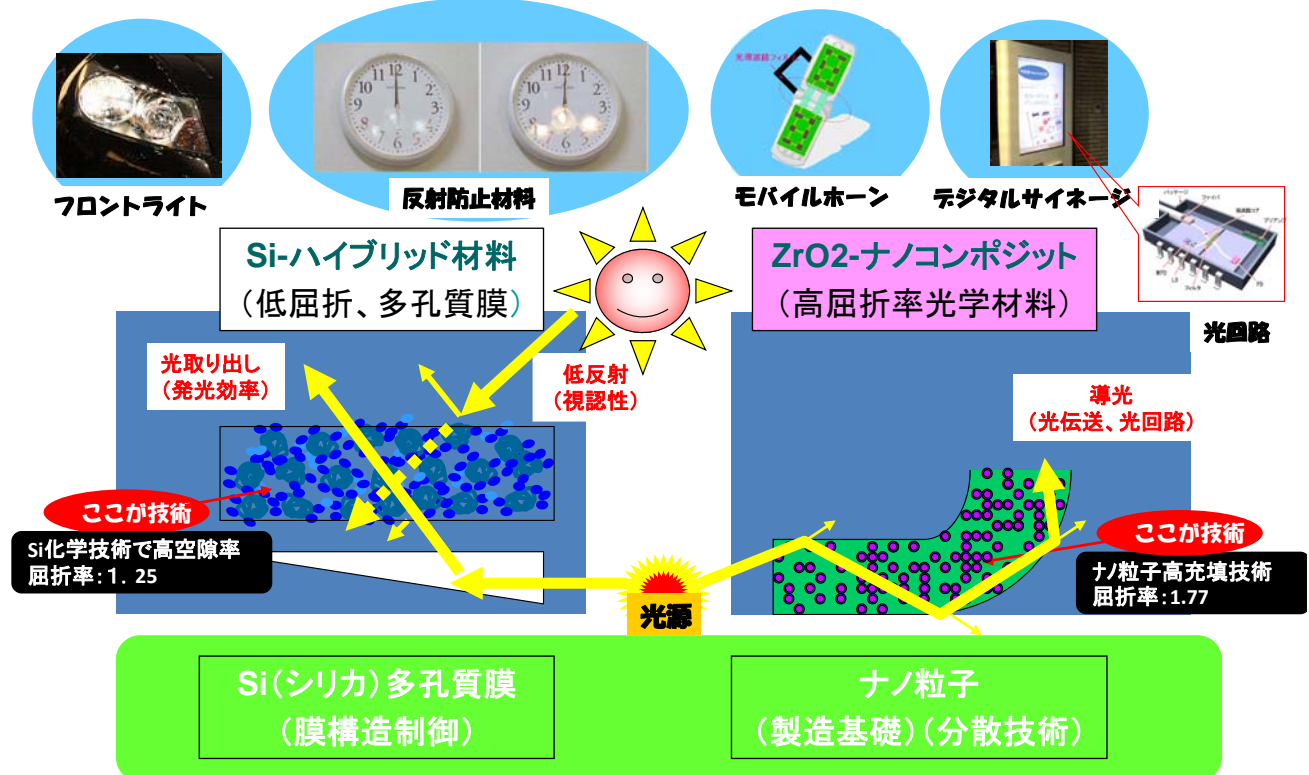


(2) 機能化学品・化成品セグメント 主要戦略(2013年～2015年)

Good Chemistry for Tomorrow
三菱ケミカルホールディングスグループ

- ◇TAIC[®]事業の収益基盤最構築
 - ・新規用途開発の加速化
 - ・徹底したコストダウン
- ◇メタノール・ホルマリン事業の基盤強化
 - ・主要顧客との更なる連携強化
 - ・新規接着剤の投入によるシェア拡大
- ◇特殊機能化学品事業の収益力強化
 - ・最適事業運営体制構築

光関連材料の技術開発と市場開拓



4. 小名浜・黒崎両工場の競争力強化

- ◇安全・安定運転体制の更なる強化
- ◇徹底した効率化・合理化
 - ・生産・物流等コスト削減
- ◇よりハイレベルな品質管理体制構築
- ◇小名浜工場土地・設備有効活用策の継続検討

【単位：億円】

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画	13-15 計
拡大・合理化	0.4	8.5	3.7	6.6	7.6	17.9
インフラ整備等	1.1	1.8	4.8	4.3	5.3	14.3
合計	1.5	10.3	8.5	10.9	12.9	32.2

拡大・合理化：新規設備設置、設備増強、省資省エネ化等

インフラ整備等：設備劣化更新、共通設備の設置・更新等

【単位：億円】

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画	13-15 計
無機化学品	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	2.1
機能化学品・化成品	3.2	3.1	2.8	2.8	2.8	8.4
未来材料	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	4.5
合計	5.8	5.6	5.0	5.0	5.0	15.0

以 上